

オリバイン BPS 1109 OP

1. 特徴

2 液架橋型アクリル系粘着剤です。

2. 性状

	主剤 < BPS 1109 OP >	硬化剤 < BHS 8515 >
外観	淡黄色透明	微黄色透明
不揮発分	39.5 ± 1.0 %	37.5 ± 1.0 %
粘度	5200 ± 1000 mPa·s	—
溶剤	酢酸エチル、トルエン	酢酸エチル

(粘度: B型 #3/12min⁻¹ at 25°C)

3. 使用方法(例)

配合 : 主剤 1Kg / 硬化剤 24~48g のバリエーション

塗布量 : 約 25g/m² (dry)

乾燥 : 100°C-2min 熱風オープン

熟成 : 塗工後、23°C-50%RH、7days

4. 性能

試験項目				測定値
粘着力 [N/25mm]	23°C-50%RH	SUS	initial	9.7
			24hrs	18.6
		PP	initial	1.6 Z
			24hrs	2.0 Z
		PE	initial	0.8
			24hrs	1.1
	5°C	SUS	24hrs	16.3
	60°C		24hrs	18.1 AT
保持力 [mm/70,000sec]	40°C-1Kg	SUS		NC
	70°C-1Kg			0.1
ボールタック [#]				7

* Z:ジッピング AT:被着体への転着 NC:ノンクリープ

<試料作成条件>

配合: BPS 1109 OP / BHS 8515 = 100 / 2.4
 剥離紙: ポリラミグラシン紙セパレーター
 基材: 市販ポリエステルフィルム 50μm
 塗工: 弊社テストコーターにて転写塗工
 塗布量: 約 25g/m² (dry)
 乾燥: 90°C-1min (乾燥炉長 3m)
 熟成: 塗工後、23°C-50%RH、7days

5. 使用上の注意事項

保存方法: 屋内にて直射日光を注意して保存
 取り扱い: 危険物につき火気厳禁
 配合: 水分混入注意

*本資料記載データは弊社試験に基づくものでありますが、使用された場合の性能を保証するものではありません。ご使用に際しましては、ユーザー各位の使用条件で事前確認の上、ご採用いただきますようお願い申し上げます。

6. 一般試験方法

<粘着力>

試料と被着体を 30 分以上測定雰囲気下に放置してから貼り合わせ、2Kg ロールで 1 往復圧着後測定する。
測定は引っ張り試験機を用い、180 度方向へ 300mm/min の速度で引き剥がし、その強度を表示する。

試料サイズ	:	巾 25mm × 長さ 100mm
被着体	:	SUS 板、PP 板、PE 板
初期	:	圧着直後に測定する。
永久	:	圧着後、測定雰囲気内に 24 時間放置してから測定する。
測定雰囲気	:	23°C-50%RH、5°C、60°C

<保持力>

試料を 23°C-50%RH 内で被着体に貼り合わせ、2Kg ロールで 1 往復圧着する。貼着試料は測定雰囲気内で 20 分放置後荷重を掛け、落下する迄の秒数又は一定時間に於けるクリープ状態を表示する。

試料サイズ	:	巾 25mm × 長さ 100mm
貼着面積	:	巾 25mm × 長さ 25mm
被着体	:	SUS 板
測定雰囲気	:	40°C、70°C
荷重	:	1Kg

<ボールタック(J.DOW 法)>

傾斜角 30 度で助走 10cm 糊面 10cm の試料にスチールボール(1/32~32/32 インチ)を転がし、糊面の中央付近に停止するボールの径の番号を表示する。測定雰囲気は 23°C-50%RH で実施する。